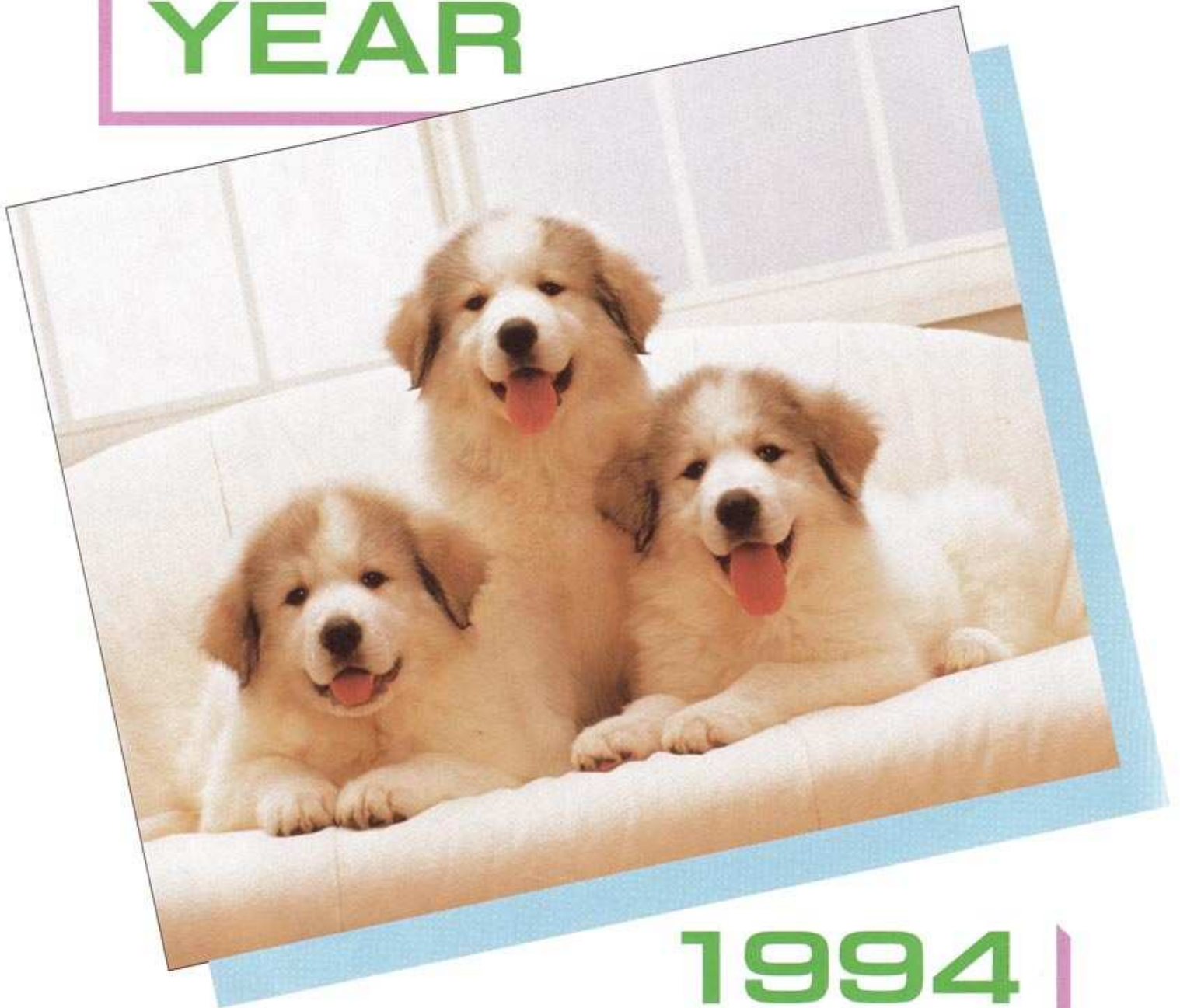


A
HAPPY
NEW
YEAR



1994



MDK会報

平成6年1月発行 第66号

新春を迎え

三重県電気工業協合理事長
三重県電気工事協力会会長

小林 重治郎



明けましておめでとうございませう。

会員の皆様にはご健勝にて新年を迎えられました事とお慶び申し上げます。

平素は工業組合並びに協会の運営に関し、何かとご協力賜わり誠に有難う存じます。

さて、昨年は異常気候に見舞われ冷夏と悪天候に悩まされ、尚、日本経済は急激なる円高と言う状況下で極めて厳しい一年間で有りました。

昨今の新聞誌上を拝見しておりますと、産業界も一部を除き経営の積極性にと

ぼしく、逆にリストラ計画を秘かに進めている現況に有るやに報道されております。

この様な日本の大きな構造変化を念頭におき、われわれ業界も是れに対応すべく考慮と努力が必要で有るかかと存じます。

景気の低迷が続ける中、新年を迎えた今日ですが、景気の良い悪いは大海の波のウネリの中でのひと時と感じます。

過去の「神武景気」とか「いざなぎ景気」とはいかないまでも、一日も早く回復を願う次第であります。

次に全日本電気工業業国民年金基金につきましては、各支部役員のご努力により三重県工組内の加入率が八十%に近づいております。自営の電気工業に従事さ

れる方々には、将来必ず加入して良かったなと喜ばれることと存じます。

未加入の方々には新年を期し楽しい老後を考へご加入くださるようおすすすめする次第で有ります。

取り止めのない所感を申し上げましたが、最後に電気工業界発展の為に、第一に組織の強化、そして団結力の重要性をご認識賜り、本年も変わらぬご協力を

年頭にあたり

常任理事
厚生委員長
三井 徳男



新年あけましておめでとうございませう。組合員の皆様には戌年の初春をお健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

平素は福利厚生事業にご

を下さいます様お願い致しましてご挨拶と致します。

理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて国民年金基金設立以来二年を経過、この間PRと加入促進に努めて参りましたが、昨年十一月末で目標一八七件に対し加入一四六件(加入率七八%)と目的を達成できませんでした。

自営業の組合員の皆様、この国民年金基金設立の趣旨をご理解戴き、サラリーマ



ン加入の厚生年金との格差を解消して、この上乘せ年金の給付を受けシルバライフの一助にすべく加入をお勧めします。

他に共済会事業として退職金共済・災害補償共済・第三者賠償保険任意型および、厚生年金基金制度等福利厚生事業に格段のご理解を賜り一人でも多く加入をお勧めします。

最後になりましたが、組合員の皆様とご家族の一層のご発展とご健康、そして安全を祈念いたしまして年頭のごあいさつとさせていただきます。

新年ごあいさつ

中部電力株式会社
取締役三重支店長

山崎 昭平



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また昨年中は、当社の事業運営につきまして格段のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、細川連立政権の誕生、皇太子ご成婚、第六十一回式年遷宮、Jリーグに代表されるサッカーブームなどがありました。しかし全般的には、年初めからの景気低迷に加え

急激な円高と冷夏がそれに拍車をかけた不況が話題に終始した厳しい年でありました。

当社の販売電力量も景気の低迷に加え観測史上二番目の冷夏、相次ぐ台風の上陸などの異常気象が影響し、昨年上期は五二五億KWh、対前年同期比▲一〇%となり、上期ベースでは二年連続の対前年割れとなりました。景気の先行きいかによっては前年度水準さえ下回ることも懸念しております。

一方、収支面では減価償却費・支払利息などの増加に加え、下期からは電気料金 の暫定引下げの要因も加わり、今後の経営環境は大変厳しいものとなりますが、より一層経営の効率化に努

め難局を乗り切る覚悟でございます。

さて、昨年の最大電力は九月二日に記録した二二三五万KWであります。この数値は十一年ぶりに前年を下回るものとなりました。しかし、今後も冷房需要を初めとしたベース需要の増加が予想されるうえ、来たるべき景気の回復を考慮すれば、電力需要は今後とも厳しい状況が継続すると考えております。

これに対し、電源開発は立地計画が計画どおり進展せず、夏期の点検補修の回避、他電力からの電力融通大口のお客様との需給調整契約の拡大などにより緊急時を凌ぐといった対策を講じておりますが、恒久的には電源の開発は不可欠であります。

三重支店として、悲願の「芦浜原子力発電所立地」が、計画発表から三十年を経過した今日も、依然として厳しい状況が続いておりますが、昨年には推進に向

けての新しい動きも出てまいりました。

今後とも安全性の確保を大前提に、地域と原子力発電が共存していける「まちづくり」について従業員一人ひとりがあらゆる機会を活用し、地元の方々、そして県民の皆様全体にご理解いただけるよう最大限の努力をしてまいりますので、従来にも増して一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

また、負荷の平準化も当社の大きな経営課題であります。特に、深夜電気温水器は昼夜間の平準化に欠かすことはできません。従業員一丸となった推奨活動はもとより、会員の皆様方におかれまして今年も更なるご支援ご協力を賜るようお願い申し上げます。

今年、式年遷宮の翌年で「おかげ年」と呼ばれ、全国の注目が集まることから伊勢市を中心に世界祝祭博覧会が開催されます。当社も地域の一県民として世

紀のイベントの成功に向け、微力ながら最大限のご協力をいたす所存でございます。最後に、貴組合および会員の皆様とご家族の一層のご発展とご健康、そして安全を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



叙勲の榮譽に浴して

顧問 角谷利夫



新しい年を迎えられ心からご祝詞を申し上げます。十月中旬、思いもよらぬ叙勲の内示の報を全日電工連を通じて事務局から知らされた時は正直、恐懼の念に一瞬我を忘れました。予て関係方面から叙勲申請の資料提出を求められ、各事務局の人たちに大変なお手を煩わしたことは記憶にありましたが、まさかとの思いがありましたのでそんなことはとんと忘れておりました。全く晴天の霹靂とは

このことなのかと夢現でした。そのうち、日を追って地元の国会議員の方々を始め、奉職中お世話になった各方面の方々から次々に祝電が届き、次第に事の重大さを感じておるうちに、いよいよ勲章伝達の日時の報を受けた時などは、夢から現実の世界に引き込まれていく自分自身を今更の思いで見つめ直しました。

思い起こせば五年前からずも藍綬褒章受章の感動に加え、今日更に叙勲の報を受けるとはとても我がこととは思われません。十一月十一日幾多の受章者の晴姿に交じり厳肅な伝達式に参列したことも非常な感動でしたが、伝達を受け帰宅するや早々に家内と初めて極彩色の勲章を手にし、その輝きの中に自分を置いた時は唯々無我の境地でした。

日を追うに連れ祝詞の数も増し、又、直々に慶事の訪問を受け、更に報道機関等の取材を迎えるに至っては刻々に受章の重さを身に痛感しました。そして受章の感想を尋ねられるのですが、私には何一つこの榮譽に値する業績など思い当たることは有りません。唯、私の今日に至る奉職の三十有余年、何よりも健康に恵まれ、数多くの優れた師、先輩賢明な朋友に巡り逢い、道を教わり訓され、助けられ支えられ、苦楽を共にしてもらった友々その人達の永年のご厚情と暖かい友情の結晶の賜物がこの瑞宝の

光となって私を暖かく包んでくれたものと感銘しております、染みその方々と神仏に感謝を捧げています。既に古稀を迎え自身の生涯に望外の一期画を得、社暦に一灯を点じ、子孫にこの榮譽を伝え残す身となりました。今日からはいよいよこの榮譽を背に一層の精進を重ね、お世話になった

多々の人達に謝恩の念を深め自己完成に励む覚悟です。どうか今後共変わりませぬご教導、ご高誼を心からお願ひ致します。末筆になり恐縮でございますが、近年厳しい市場環境の中で新年を迎えられました組合員の皆様はもとより両組合の益々のご繁栄を祈念いたします。

晴れの表彰

次の方々が、各関係団体から、晴れの表彰を受けられました。

おめでとうございます。

○5・10・22

全日電工連創立35周年記念表彰

(役員功勞)

津支部 蒔田電気工業所 蒔田 正幸

(事務局職員)

上野支部 宮森 喜代

○5・10・26

第31回中小企業団体三重県大会 会長表彰

(組合功勞者)

上野支部 榊村協電気 村脇 謙

(組合優良職員)

伊勢支部 上之郷千佳子

◀ 会員異動のお知らせ ▶

前号以降の会員異動は下記のとおりです。名簿の追記修正をお願いします。(事務局)

地区	種別	新旧	コード番号	事業所名	代表者	住所	電話番号	郵便番号	登録届出番号
久居	新規加入		31355	(有)協和電気	木村正行	久居市野村町池尻2028-1	0592-56-4439	514-11	(届出)93-13
上野	"		31486	西尾デンキ	西尾光正	上野市丸ノ内1-48	0595-21-3372	518	5-31
"	"		31487	阪本電気	阪本義次	上野市下友生2678-7	0595-23-6965	518	2-32
"	"		31488	コスモ電気	稲森治男	阿山郡伊賀町柏野1168	0595-45-4700	519-14	5-27
松阪	"		32169	タナカ電気商会	田中泰之	松阪市下村町1188	0598-29-1214	515	5-7
"	"		32170	ウレシノ家具電気部	中川英之	一志郡嬉野町釜生田166	05984-3-2127	515-24	5-58
鈴鹿	"		34772	坂崎電気工業所	坂崎栄喜男	鈴鹿市野町134-2	0593-87-4218	510-02	90-12
上野	退会		31451	菊山電業	菊山良直	上野市西日南町1721	0595-23-0908	518	3-218
松阪	"		32039	永井電器(株)	永井敏博	松阪市新町807-2	0598-21-2488	515	61-201
伊勢	"		33138	富士見電気工業	竹下佑二	度会郡玉城町佐田1792-2	0596-23-2895	519-04	元-60
志摩	"		33456	田口電気商会	田口信司	志摩郡阿児町国府4152	05994-7-3831	517-05	2-26
鈴鹿	"		34775	若松電気商会	垣内勇	鈴鹿市若松町西五丁目21-6	0593-85-2856	510-02	3-137
津	承継加入	新	31102	(有)上田電気商会	上田浩市	津市河辺町56-5	0592-28-3292	514	2-27
久居	"	"	31349	(有)宮田電気商会	宮田敏之	久居市一色町779-3	0592-52-1159	514-12	2-139
上野	"	"	31425	川口電気商会	川口裕三	阿山郡島ヶ原村5950	0595-59-2141	519-17	5-30
松阪	"	"	32143	(有)水本電工	水本章央	松阪市深長町581-2	0598-58-2498	515	元-10
伊勢	"	"	33014	(有)新星電設	西村昌典	伊勢市勢田町949-70	0596-23-4628	516	3-233
四日市	"	"	34116	(有)名電設備工業	坂井豊志	四日市市山崎町980-22	0593-45-4711	510	(届出)93-16
"	"	"	34120	加藤電業社	加藤和己	四日市市東坂部町637	0593-31-0089	510	(届出)93-10
"	"	"	34125	(有)今村ラジオ	今村昭郎	四日市市小古曾6丁目15-4	0593-45-0005	510	3-322
員弁	"	"	34601	(有)日進電機工業所	伊藤常昭	員弁郡北勢町大字阿下喜2879-3	0594-72-2318	511-04	3-448
津	変更	"	31009	(株)菊谷電気商会	牛場章雄	津市城山一丁目2-3	0592-34-2622	514	(届出)84-27
"	"	"	31073	(株)中央電工	里見涉	津市新東町塔世28	0592-26-1539	514	(届出)51-55
"	"	"	31129	(協)中電工事(株)三重支社	赤塚節雄	津市新町二丁目4-53	0592-27-6555	514	(届)局長46010
久居	"	"	31323	(株)石田電気	石田盛六	一志郡一志町大字高野289-1	05929-3-0116	515-25	(届出)56-8
松阪	"	"	32041	長谷電工(株)	長谷維政	松阪市上川町3639-20	0598-28-7111	515	(届出)52-21
"	"	"	32090	(株)トーエネック 松阪営業所	細谷豊司	松阪市久保町字東1855-23	0598-29-1313	515	(届)大臣4665
"	"	"	32161	岡村電設	岡村正己	松阪市大黒田町1826-3	0598-23-5889	515	(届出)85-25
"	"	"	32168	庄司電機松阪店	庄司竹文	松阪市光町1296-15	0598-23-9031	515	3-225
伊勢	"	"	33017	(有)牛場電気	牛場貴夫	伊勢市神久五丁目8-47	0596-24-4111	516	(届出)480003
四日市	"	"	34090	(協)トーエネック 四日市営業所	安藤順二	四日市市富士町2549	0593-31-2191	510	(届)大臣4665
桑名	"	"	34412	(株)関西電波	佐藤健司	四日市市生桑町328	0593-31-1000	510	(届出)51-65
"	"	"	34416	(有)山洋電気工業	清水昭一	桑名市京橋町10	0594-22-4399	511	(届出)51-103
"	"	"	34450	(株)ふじでん	柴田清文	桑名市大字額田277-2	0594-31-5544	511	(届出)56-22

〔おわびと訂正〕 前号65号で、新規加入 富田支部の
 (正)石河電子工業
 (誤)石河電気工業 となっておりましたので訂正いたします。

正月三題

副理事長 蒔田正幸

(I) 幼少年時代

正月といえば先づ思い浮ぶのが♪もういくつ寝るとお正月、お正月には凧あげて独楽を回して遊びまじょう♪の童謡である。

大正十三年生まれの自分の時代にはクリスマスなどは縁がなかった。とにかく学校が休みになり家族一同が晴着を着て天下晴れて遊べればよかったのである。

近所の田圃に出て凧上げ・独楽回し、又屋内ではイロハカルタ・双六等に大人を交えて近隣の友達と遊ぶのである。正月は幾ら騒いでも叱られないので餅や密柑を食べながら夜半まで過した記憶がある。

他にも子ども特有の遊びがあったが割愛する。然し平穏な時代も昭和十二年七月に日中戦争が勃発し十五年には大政翼賛会が全国に

結成され、軍事色が教育にも浸透し始めた。国民生活も総べてが統制され「せい

たくは敵だ」を合言葉に窮乏生活を強いられ、正月気分を味うどころではなくな

たことを子ども心にも感じたものである。そして十六年十二月八日の真珠湾攻撃を皮切りにあの悪夢のようだった大東亜戦争へ突入していったのである。

(II) 軍隊の正月

多感な青春時代を戦争とともに過ごした我々は、現代と比べて誠に不幸であつたと思われてならない。

当時は叔父の経営する東京都蒲田区(現太田区)の軍需工場に在職中であつた

が、十九年五月に徴兵検査のため帰郷し検査の結果第一乙種合格となり、同年十月一日に京都伏見の三七部隊に入営し、二十年一月に

は軍隊で始めての正月を迎えた。一期の検閲も終わらない二等兵である。

元日は五時に起床し宮庭に整列、初日の出を拝み(当日は曇で拝めなかった)

皇居を迎えて捧げ銃、狸のような顔をした部隊長の永い訓辞、内務班へ戻っても雑煮もでない京都の厳寒の中ででの元旦であつた。

その後一月末に通信技術兵の教育を受けに東京都板橋の第一陸軍造兵廠へ分遣になり(東京空襲に二度遭遇した)教育終了後五月に現役帰休で除隊になり(繰上げ徴兵で兵舎に収容出来ず教育の終わった兵を一時帰した)元気で故郷へ帰ることが出来た。

そして津市の空襲も二回体験し、火災の恐しさを痛感し八月十五日に終戦を迎えたのである。

(III) 終戦後の正月

二十一年の正月は食糧難の深刻な頃であり、解放感はあるが正月気分を味わうことは出来なかった。まし

て今のようにテレビも普及していない時代である。友人達と酒を飲み(その頃は農業会へ務めていたので酒の入手には恵まれていた)麻雀をする位であつた。

二十二年八月に電気工事店を始め、翌年八月に現住所へ移転と同時に消防組(現消防団)への入組を勧められ戦時中に火災の悲惨さを体験していたので防災面で社会奉仕の一助になれ

ばと応諾したのが消防人としての始まりである。ご承知の通り消防には年頭の出初式が一年の始まりであり、例年一月七日に開催されるのが恒例であつた。

三ヶ日は若干正月気分に分れるが、四日からは訓練や準備の為、多忙を極め毎年

年出初式が終る迄は正月であることの自覚が湧いてこなかった。これが消防団を勇退した六十二年迄続いたものである。

三十五年頃になると戦災復興も進み食糧事情も好転しつつあり高度成長期を迎えることになった。仕事も軌道にのり、生活も安定したので消防関係者を主体に津スキークラブを四十名程で結成し、毎年正月には妙

高高原の赤倉へスキー旅行に行くことになり、これが十年程続いた正月行事であつた。

三回に一度は家族も同伴したが、白銀の中で転ぶ魅力もさることながら定宿の旅館で出た地酒の味が今でも忘れることができない。

今年も白銀の世界へ脱出

青年部会副会長 森井貞彦

私の正月は七年前から友人の家族と一緒に毎年スキーに出かけています。普段休

日でも家にいれば仕事の電話等があり気の休まらない(七面へつづく)



事が多いのですが、この時ばかりは何もかも忘れりフレッシュします。

又、家族サービスもなかなか思うように出来ないで、車の運転や荷物(スキー旅行は道具が多く大変です)の運搬等家族の中で一番張りきって行動します。

道中は車に取り付けた無線機で「ワイワイガヤガヤ」とツアーを組んだ仲間と一緒に話しをしながら走るので楽しい旅になります。

子供達も成長し(男中三・女小六・女小三)リフトの乗り降りや、スキー板の扱い方など私達大人より上手

以上になるかな。無芸・無

青田 逸夫

三港電気商会



になってきました。中でも末っ子の娘も前シーズンからボーゲンで結構滑れるようになり、家族そろって楽しめるようになりました。友人達みんなで連なった山をのんびり滑り、そして天気の良い日の雄大な山岳パノラマを目の当りにすると最高の気分となります。夜には宿舎となったアットホームなペンションや民宿で今日の一日をみんなで酒の肴にします。今年是最近買った4WD車(ピックアップ)に乗って志賀高原に行つて来ます。

能・田舎育ちの私にチラッと何かひらめいた。これからの時代は自分の特技をもつ時代だ。でも何をすれば良いのか浮かんでこない。ある日のこと、大工さん宅へ集金に、すると奥の方からレコードの音がする。今流行の曲でドタンバタン床の音、扇子を手にして現れた奥さん「あんたも踊りをやんな」考えてもみたことのないこと、男の俺にそんなこと。私の母方の親族は世に言うあわてもの、人の前でも平気で騒ぎだす血筋、私もその血が？

先生に習っている私の踊る姿を次に習う人が大きな声で笑いだしたので、ああ明日からも来ないぞ、何度も同じ繰り返しをしながらも舞踊の練習にハンドルのむけてしまう。稽古友達も出来、先生にも慣れてもう恥ずかしい事知らず。年一度のおさらい会が楽しみになってきたのです。何年かたって、ふとした事で今

までの稽古場を去り、今後は家元が教えてくれる会に入会、東京より月一回研修にきて下さるのです。研修が終わるその後食事に、踊りの会は男性がほとんどいない。家元は男性であるがゆえにお付き合いに誘われ、家元直々に話が出来るようになり、お酒が入れば男同士話を通じることが多く、いつの間にか友人となり深みが増すばかり、名取りに次は師範と、奥の奥まで入り込んでしまったのです。東京・大阪・神戸・和歌山と各地発表会に参加、又発表会の裏方等もして舞台の奥まで知ってしまったのです。東京では、コマ劇場や歌舞伎座、郵便貯金会館、神戸国際会館等で出演経験を果たしたことを喜びに思っております。



あでやかに舞う青田逸夫さん

第11回電気工事業

全国大会に参加して

青年部会会長 北井和義

今回の全国大会は、10月22日に東京都新宿区の京王プラザホテルにて、業界関係者参加のもと盛大に行われました。

青年部は21日、横浜ランタマークタワーホテルで「青年部研修会」を開き、

次代を担う後継者として全国大会に向けて熱心な意見交換がされました。「前夜祭」ではニュースキャスターの宮崎緑さんを迎え、知性あふれる興味深い講演を聞かせて頂きました。北海道から沖縄まで各都道府県のブロック代表の皆さんと現在の不況をどう乗り切るか、人材不足にはどう対応すればよいか等、色々話し合いました。各ブロック対抗のゲームで青年部会員の懇親を深め、有意義な前夜祭でした。

全国大会は、大会メインテーマを「光と創造/21世紀につながる地球にやさしい電気設備」とし、第1分科会から第3分科会に分かれ、それぞれのテーマについて意見発表がされました。第1分科会では、

「業界の発展は、組織の強化と団結で」のもとに、電気工事業界の細分化状況をどうするか、21世紀へ向けて、組織をあげて意識改革を、等の発表がされました。

第2分科会では、「快適な住環境づくりは、新技術とアイデアで」

新技術への創意工夫や、200ボルト化の普及拡大と機器の価格適正化推進を等の意見発表。

第3分科会では「後継者として望む経営者

のありかた」

経営者の能力向上と組織の強化が企業成長の相乗作用につながる、そして「他人のやりかたを見て覚える」時代から「専門教育による機械化・情報化」の時代へ等、各分科会ともこれからの社会状況において業界が問題としていかなければいけない数多くの意見の発表がなされ、21世紀に向け業界が今一歩前進した感の本大会でした。

第22回 引込および内線工事 技能オリンピック大会開催 9月16日 三重県電気工事協力会 青空の下で技を競い合う



県大会会場と松本広志さんの力強い宣誓



真夏の太陽を思わせるような青空の下、各ブロック代表チームが中部大会選抜を兼ねて技を競った。会場は役員、関係者による事前準備も整い開会式は九時三十分棍技術副委員長あ司会のもと小林理事長あ



(中部大会) 鳥羽チームを囲んで

中部連合会大会

鳥羽チーム健闘

総合三位入賞

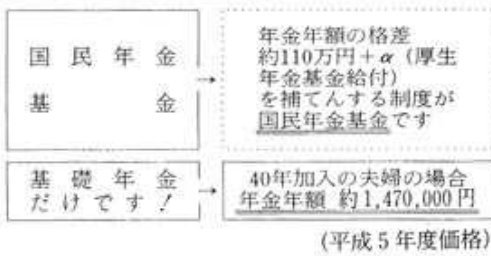
いさつ、津チームの松本広志さんが力強く選手宣誓のあと実技開始となった。各チーム額に汗して日頃鍛えた技術、技能を最大限に発揮し実技課題に取り組んだ。昼食のあと学科に入り十四時無事終了した。審査の結果、一位津チーム、二位鳥羽チームが決定、両チームは十月七日に行われた連合会大会に出場した。

加入するとこれだけ有利に

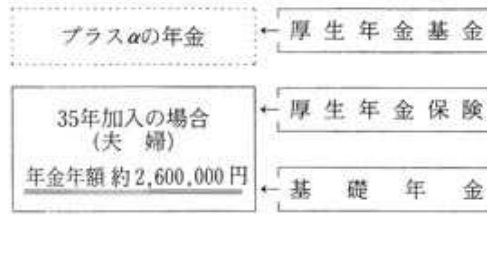
全日本電気工事業国民年金基金

年金月額格差 平均的なモデル例

国民年金適用者(自営の方)



厚生年金適用者



約113万円+ α の年金格差(年額)

掛金(月額)	21,000円(年額252,000円) (10,500円×2人)	約42,000円+ α (年額504,000円+ α) (標準的モデル例)
--------	-------------------------------------	---

厚生年金適用者は約21,000円+ α の負担増(年額252,000円+ α)

年金格差をなくす

厚生年金適用者
国民年金適用者
格差モデル例



全日電工国民年金基金加入のメリット

- ①国民年金の上乗せ年金に加入することにより、厚生年金加入者との年金格差を補填することができます。(年額110万円以上)
- ②掛金の上限は月額68,000円で全額社会保険控除の対象となり、所得税・住民税の軽減になります。
- ③受取る年金は公的年金等控除が適用されます。
- ④統一的な制度を通じて、さらなる結束力の強化とイメージアップが図られ、電気工事業業界の益々の発展につながります。
- ⑤将来運用益による独自の会館、保養施設等の建設により、加入者が利用することができます。
- ⑥各地区で実施の厚生年金基金と合わせて、すべての組合員が年金基金制度の恩恵に欲することができます。

平成5年度 第二種電気工事士試験実施結果〔関係分〕

(筆記合格発表 5年 7月7日)

(技能合格発表 5年 9月10日)

		名古屋	静岡	津	岐阜	長野	合計	全国計	
受験申請者	受験申請者総数 (A)	(99.9) 7,424	(92.7) 2,843	(95.3) 1,312	(108.4) 1,234	(119.2) 1,539	(100.3) 14,352	98,425	
	内訳	筆記受験者 (B)	(108.3) 5,840	(97.3) 2,200	(109.3) 1,050	(112.7) 267	(127.2) 1,272	(108.2) 11,329	—
		筆記免除者	(77.6) 1,584	(79.9) 643	(63.0) 262	(95.4) 267	(91.8) 267	(78.9) 3,023	—
筆記試験	受験者数 (C)	5,465	2,064	990	919	1,154	10,592	73,609	
	合格者数 (D)	2,889	1,078	563	460	523	5,513	39,480	
%	受験率 (C/B)	(93.6) 93.6	(95.4) 93.8	(93.9) 94.3	(95.2) 95.0	(92.3) 90.7	(94.0) 93.5	—	
	合格率 (D/C)	(52.0) 52.9	(45.5) 52.2	(53.2) 56.9	(54.8) 50.1	(43.0) 45.3	(50.1) 52.1	(49.5) 53.6	
技能試験	受験有資格者数 (E)	4,490	1,721	824	724	790	8,549	58,488	
	受験者数 (F)	4,270	1,653	785	700	748	8,156	55,452	
	合格者数 (G)	2,087	780	404	348	379	3,998	29,646	
%	受験率 (F/E)	(94.1) 95.1	(94.1) 96.0	(93.9) 95.3	(96.0) 96.7	(91.1) 94.7	(94.0) 95.4	—	
	合格率 (G/F)	(65.3) 48.9	(59.6) 47.2	(65.0) 51.5	(57.5) 49.7	(63.3) 50.7	(63.3) 49.0	(67.1) 53.5	
総合合格率 (G/A)		(38.8) 28.1	(32.6) 27.4	(39.6) 30.8	(35.3) 28.2	(30.8) 24.6	(36.5) 27.9	(37.5) 30.1	

- 注) 1. 受験申請者欄の()内は対前年比
2. 受験率、合格率欄の()内は前年度

＝安全推進運動標語＝

慣れた作業も 基本を守って ゼロ災害

よき笑顔 今日も一日 安全で

誓います 無事故作業で ゼロ更新

平成5年度 第一種電気工事士定期講習実施状況

講習年月日	講習会場	受講対象者	申込者数	申込率 (%)	講習修了者	受講率 (%)
5.8 / 6(金)	サンワーク津	210	178	84.8	167	93.8
10 / 6(水)	"	210	182	86.7	172	94.5
11 / 10(水)	"	210	202	96.2	193	95.5
6.1 / 13(木)	"	210	186	88.6		
2 / 10(木)	"	210	184	87.6		
2 / 23(水)	"	210	192	91.4		
3 / 17(木)	"	210	185	88.1		
合格	7会場	1,470	1,309	89.0		

(平成6年度第1四半期予定)

H 6. 4. 14 (木)	サンワーク津会場	受講対象者	200名
H 6. 5. 13 (金)	"	"	200名
H 6. 6. 19 (木)	"	"	200名
H 6. 6. 24 (金)	"	"	200名

お忘れなく!

講習当日は電気工事士免状、
受講票、筆記用具は忘れずに

第一種電気工事士

定期講習実施状況

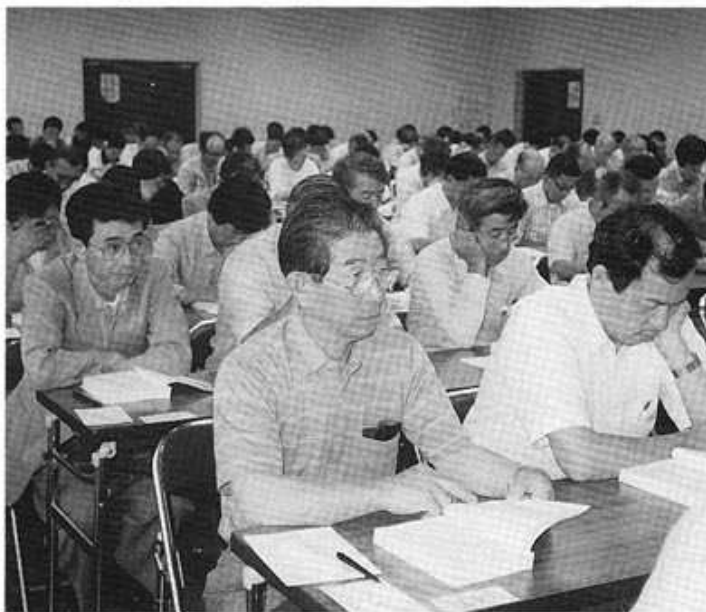
八月六日、第一回目の講習会を皮切りに、十月六日、十一月十日とサン・ワー

初日は受付で少しの例が

出来ましたが、何の混乱もなく無事三回目の講習会も済みました。電気工事士免状や受講票を忘れた受講者もほとんどなく、今後とも順調にいくことを願っています。
昼食時になると、受講者

の皆さんは近くのレストラン、喫茶店、食堂へ出掛ける人、又、会場前に流れる志登茂川の堤防に座ってお弁当を広げる人、愛妻弁当を持ってみえる人等、五十分程の休憩時間を様々に過ご

しています。
この定期講習は、第一種電気工事士免状を持つ人が受ける義務があります。これによって電気工事士としての技術にさらに磨きをかけてみましょう。



会場いっぱい受講者のみなさん



〈事務局だより〉

浜岡原子力発電所見学

事務局研修旅行

去る十一月十二日、理事
長始め各支部事務局職員二
十名が中部電力株式会社

浜岡原子力発電所を見学し
ました。
原子力発電所は「事故を
起こさな
い」安全
確保がす
べてに優
先して考
えられ実
行されて
いるとの
こと、原
子力発電
のしくみ
と安全性
の説明を
受けまし
た。



理事長を囲み記念写真

去る十一月十二日、理事
長始め各支部事務局職員二
十名が中部電力株式会社

事務局職員紹介

よろしく

お願いいたします

- 津支部 杉田 勝博
- 松阪支部 増野 兼美
- 鳥羽支部 勢力 玉美
- 富田支部 村上 直美

変更届を忘れずに

第一種電気
工事士の方へ
お願い。

住所等変更の連絡

① 東京都 〆01234号
デッキ タロウ
電気 太郎

② 〒100
東京都千代田区中央1-1-1
サクラマンション205号
TEL 03-3123-4567

③ 日本工専株式会社
〒105
東京都港区新橋4-24-8
〆2東洋海軍ビル7F
TEL 03-3435-0897

- ①免状交付都道府県名と交付番号は必ずお書きください。
- ②お名前にはフリガナをお付けください。
- ③住所変更の方は新住所（郵便番号）と電話番号をお書きください。
※アパート・マンション名および号棟・部屋番号を必ずお書きください。
- ④勤務先変更の方は新勤務先名、所在地（郵便番号）、電話番号をお書きください。



FAX

どちらでも



ハガキ

(注)電気工事工業組合に所属の方は各組合へ変更届をご提出下さい。